

議 事

「東京宝島」の取組について



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS

東京宝島チャレンジプロジェクト

○ 目的

各島の地域ブランドコンセプトに基づき実施する、島の付加価値を高め地域の持続的な発展を目指す取組を一步進め、**複数の島しょにまたがる広域的取組を支援**するため、新たなサービスの起業及び事業化に向けたチャレンジを支援

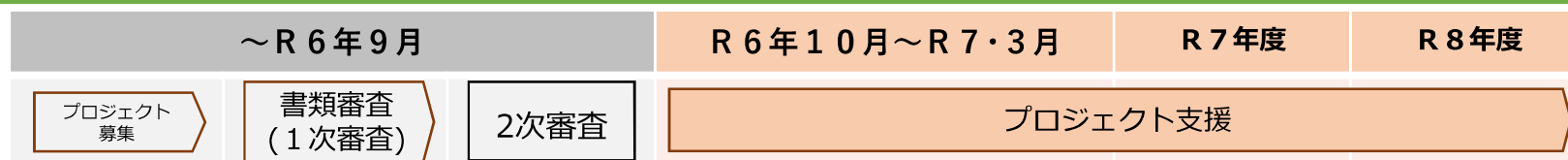
○ 募集対象

観光客の誘致、地域産品の磨き上げ・魅力発信や、関係人口の創出や移住定住の促進に向けた、医療、住宅、仕事等の分野における暮らしやすい地域づくり等、**地域資源を活かした地域産業・経済の活性化**といった、**島しょ地域が抱える地域課題を解決し、一層の魅力向上**につながるプロジェクト

○ 支援内容

- ✓ 原則3カ年のプロジェクト事業費を上限1億円程度支援
- ✓ プロジェクトの実現可能性を高めるため、関連分野に強みを持つ
パートナー企業とのマッチングを支援
- ✓ 支援期間中のアドバイザーによる伴走支援を実施

○ スケジュール



てらすワークショップ

現状：運動部の部員や練習試合など実践形式の練習が不足。また、観光客が一部季節に集中し、閑散期は。・進学などで一度島外に出た子ども世代のUターンがとても少ない。

取組：以下の取組から「島しょでスポーツがしたい」という機運を醸成

- ① **各島の実態にあわせた新たなスポーツ観光大使を任命。**継続的な島内へのスポーツ誘致を実施。行政・企業との連携してプロジェクトと推進。
- ② 閑散期のスポーツ・文化体験プログラムを創出し、閑散期の来島者増加を図る。**大島・神津島での展開を予定。後年度は新島での展開を予定。**



(株) ネクセライズ

現状：発電は島内の発電所に依存しており、発電に必要な燃料は本土からの海上輸送に依存。

取組：災害時へのレジリエンス強化等の観点も見据え、**太陽光発電を普及促進**すべく以下の取組を実施。①本土&島内事業者の協働体制構築②島内事業者の自立化に向けた教育訓練サービス開始③島しょ地域での点検保守サービスを開始④島内イベントで太陽光発電のある暮らしの普及啓発。**新島・式根島で取り組みを開始し、大島支庁管内に展開を予定、11島の実施も可**



合同会社とり

現状：①耕作放棄地が増加している他、島独自の農作物の認知度が低い②夏季は観光客が集中し宿不足等の課題が生じる一方で、オフシーズンは宿余りの状況。

取組：① **耕作放棄地を開墾**し農業規模を拡大。**収穫体験プログラムを実施**し農作物の認知度を向上②農作物の収穫体験プログラム等を夏季以外に実施。**宿泊体験と連動**させることでオフシーズンの来島誘致および宿泊業の活性化を狙う。

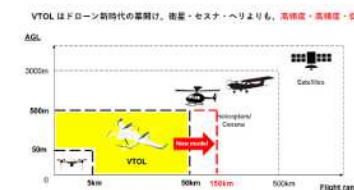
新島での展開を予定、後年度は式根島をはじめ八丈島、利島等への展開を予定。



エアロセンス (株)

現状：各島の物流は、船舶輸送に依存しているが、船舶の維持費用の増大等により減便をせざるを得ず、物流ニーズを満たし続けることが困難な見込。

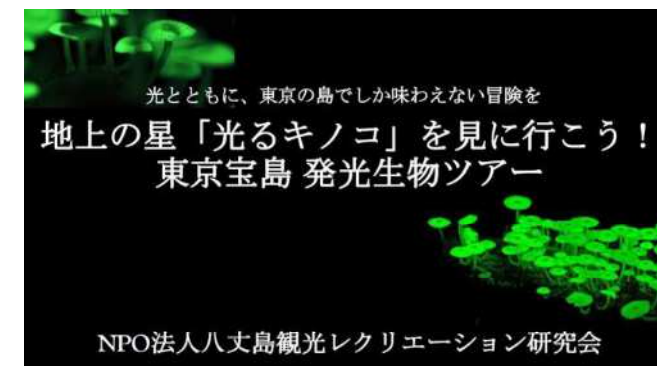
取組：式根島にドローン拠点を設置。本土からのドローン物流を可能とし、災害時や船舶の故障時に備えた円滑な物流網を構築。物流の他、災害時の被害状況確認や3次元データによる観光コンテンツも創出。式根島での拠点設置および大島・三宅支庁管内を中心に展開。後年度は父島・母島間で展開を予定。



NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会

現状：観光客が夏季に集中しており、体験できるアクティビティはマリンスポーツ等の日中に行うものが中心。宿泊の動機付けに繋がる閑散期のナイトコンテンツや好奇心を刺激する親子向け探求コンテンツ、また情報発信自体が不足。

取組：東京の島しょ地域に自生する発光生物（光るキノコ、夜光虫等）をモチーフとしたナイトタイムツアーを企画。閑散期を含む通年で楽しめる光を取り入れた屋内展示のコンテンツ拡充。現地を訪れないと参加できないクイズラリーも実施し認定証を発行する等、来島意欲を醸成。八丈島での展開を予定。後年度は三宅島・父島・母島での展開を予定。



小笠原グリーン (株)

現状：①島の経済規模の内約65%が都や国の補助金に依存。自律的な経済循環が構築できていない②森林の観光活用は為されていますが、潜在価値（森林の多面的機能）を100%引き出しながら経済性を持たせるような施策が少ない。

取組：①樹種特性を調査し炭素吸収量を算出。カーボンクレジットによるCo2排出量売買による経済循環を実現。②電気式木材乾燥所を設置し商品の生産体制を強化。ブランドストーリーを展開し高付加価値化を目指す。父島・母島での展開を予定。後年度は八丈島での展開を予定。

令和6年度島しょ地域のブランド化に向けた東京宝島チャレンジプロジェクト

小笠原グリーン株式会社

小笠原カーボンクレジットによる新しい経済価値の創出



島しょ地域のアクセス多様化に向けた取組

○ 目的

- ✓ インバウンド需要の回復を踏まえ、**国内外の接続強化や多様な来島手段への対応を図る**

○ これまでの取組

- ✓ **海外の富裕旅行者層の獲得に向け、ビジネスジェットを活用したファムトリップを実施**

- ◎ **時期** : 令和5年12月8日～10日（2泊3日）
- ◎ **来島者** : 海外旅行会社エージェント3名（チェコ・イギリス・イタリア）
- ◎ **行程** : 羽田空港で入国 → ビジネスジェットで八丈島に来島・滞在



- ✓ **国内外の先進事例として、ケアンズ市（オーストラリア）・宮古島市（沖縄県）を視察**

○ 令和6年度の取組

- ✓ 八丈島に**ビジネスジェット海外直行便を誘致し、CIQの検証とアイランドホッピングを実施**

- ◎ **時期** : 令和6年12月上旬（予定）
- ◎ **来島者** : 海外旅行会社エージェント 又は 海外インフルエンサー 等
- ◎ **行程** : 八丈島空港で入国 → **他島を周遊**（三宅島を予定）



- ✓ 令和7年度以降の**ビジネスジェット海外見本市に向けたPR素材を作成**

東京宝島 サステナブル・アイランド創造事業

○ 目的

島しょ地域を取り巻く課題や地理的制約を克服するため、町村の意欲的な**公民共創の取組**を支援し、にぎわいと活力に満ち溢れた**持続可能な地域社会を創出**

○ 補助概要

- 補助期間 : 最長 **3 年間**
- 補助上限額 : 1 町村あたり **5 億円** (3 年間総額)
※基盤整備を伴わない場合は 1 億円
- 補助率 : 10/10
- 補助対象事業 : 地域産業や経済の活性化につながる事業
先端技術やデジタル技術を活用し、社会課題の解決等へとつながる事業 など



○ 令和 6 年度の取組

- ✓ 令和 4 年度採択の 3 町村（大島町、八丈町、新島村）に、令和 5 年度採択の 6 村（利島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、青ヶ島村、小笠原村）を加えた **9 町村**で事業を実施
- ✓ 大島町、八丈町については、**今年度で事業が完了し、一定の成果が得られる見込み**



- ・ 各島の**個性ある取組**をバックアップし、**島しょ地域の持続的発展**に繋がる**ポテンシャルを底上げ**
- ・ 一方で、これまでの取組だけでは十分とは言えず、3 年という限られた期間の中では、**より発展的な取組は困難との声**が島しょ町村から寄せられている

○ 各町村の主な取組

…令和4年度採択

…令和5年度採択

大島町 ～“G E O”の魅力と連動した自然・歴史・文化の発信～

今年度末 事業完了予定

- ✓ 現状の火山博物館を一新、来訪者を魅了するためのプロジェクションマッピング等による展示物の導入に加え、国内有数の研究者(東大地震研等)と来訪者とのつながりの場を設置



新島村 ～ ガラスとコーガ石が彩る新たな魅力の創出 ～

- ✓ コーガ石や新島ガラスを用いた唯一無二の象徴的なモニュメントの設置や世界的ガラスアーティストとのコラボ作品の充実等により、アートの力で島の魅力を磨き上げる



八丈町 ～ D X がつなぐ未来への架け橋 ～

今年度末 事業完了予定

- ✓ A I 画像認識技術により得た情報を世界でも例を見ない観光アプリの開発やクジラの生態研究へ利用することで、環境保全と観光資源活用が調和した新たな観光モデルを構築



©八丈町・東京海洋大学鯨類額研究室

利島村 ～ サステナブル住宅の整備 ～

- ✓ 水循環システムや太陽光発電設備を導入した移住者向けオフグリッド型※住宅を整備

※ 電力会社の送電網や上下水道につがっていない状態で、電力や水を自給自足できる住宅



● 神津島村 ～ 観光のD X化による関係人口の創出 ～

- ✓ メタバースやN F T※等のデジタル技術を活用し、関係人口創出を実現するための新たな基盤を構築

※ 偽造・改ざん不能のデジタルデータ



● 三宅村 ～ 観光のハブとなる拠点施設としての公園整備 ～

- ✓ 観光のハブとなる拠点施設として、三宅島の噴火の歴史を象徴するシンボリックな島の象徴となる公園を整備（事業計画再調整中）



● 御蔵島村 ～ 島を支える人材創出と地域産業の活性化 ～

- ✓ 島外人材の受入に向けた人材活用システムを構築し、島外人材と協働しながら、既存資源のリブランディングや新たな特産品の開発等の取組を実施



● 青ヶ島村 ～ 魅力ある地域資源の高付加価値化 ～

- ✓ ひんぎゃを活用した価値ある食体験の提供等が可能な製塩所機能を整備
- ✓ 島の歴史・文化を体験できるミュージアムを併設した移住者向けシェアハウスを整備



● 小笠原村 ～ エコツーリズム普及啓発拠点の整備 ～

- ✓ オープンラボ機能を有した世界的な研究施設として海洋センターを一新し、研究成果をエコツーリズムへ還元

